

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	無期限		
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
ベビーファンドの運用方法	①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50%を中心に、40%程度から60%程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。 ③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。		
組 入 制 限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第 96 期	（決算日	2017年 3 月10日）
第 97 期	（決算日	2017年 4 月10日）
第 98 期	（決算日	2017年 5 月10日）
第 99 期	（決算日	2017年 6 月12日）
第100期	（決算日	2017年 7 月10日）
第101期	（決算日	2017年 8 月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第101期の決算を行ないました。

ここに、第96期～第101期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落率	(参考指数)	期 中 騰 落率	(参考指数)	期 中 騰 落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
72期末(2015年3月10日)	7,757	50	△ 3.5	15,549	△ 0.3	18,370	△ 2.5	93.9	△13.5	71,801
73期末(2015年4月10日)	7,849	50	1.8	15,526	△ 0.1	18,913	3.0	95.9	△11.5	71,227
74期末(2015年5月11日)	7,722	50	△ 1.0	15,586	0.4	18,785	△ 0.7	93.0	△ 6.3	69,764
75期末(2015年6月10日)	7,727	50	0.7	15,837	1.6	18,746	△ 0.2	95.2	△ 8.3	69,153
76期末(2015年7月10日)	7,455	50	△ 2.9	15,445	△ 2.5	18,249	△ 2.6	92.0	△ 2.3	66,560
77期末(2015年8月10日)	7,351	50	△ 0.7	15,927	3.1	18,040	△ 1.1	94.1	△ 4.6	65,216
78期末(2015年9月10日)	6,650	50	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7	57,868
79期末(2015年10月13日)	6,787	50	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1	58,625
80期末(2015年11月10日)	6,742	50	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—	57,708
81期末(2015年12月10日)	6,674	50	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6	56,473
82期末(2016年1月12日)	6,082	50	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9	50,874
83期末(2016年2月10日)	6,093	50	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△10.0	50,369
84期末(2016年3月10日)	6,146	50	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9	50,548
85期末(2016年4月11日)	5,931	50	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—	47,764
86期末(2016年5月10日)	5,837	50	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—	46,256
87期末(2016年6月10日)	5,818	50	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—	45,544
88期末(2016年7月11日)	5,506	50	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—	42,708
89期末(2016年8月10日)	5,582	50	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—	42,678
90期末(2016年9月12日)	5,471	50	△ 1.1	13,897	0.3	16,142	0.3	95.2	—	41,438
91期末(2016年10月11日)	5,494	50	1.3	13,857	△ 0.3	16,490	2.2	96.7	—	41,034
92期末(2016年11月10日)	5,439	30	△ 0.5	13,671	△ 1.3	16,269	△ 1.3	95.8	—	40,070
93期末(2016年12月12日)	5,657	30	4.6	14,545	6.4	17,088	5.0	95.8	—	40,641
94期末(2017年1月10日)	5,547	30	△ 1.4	14,754	1.4	17,296	1.2	96.4	△ 7.0	39,185
95期末(2017年2月10日)	5,588	30	1.3	14,411	△ 2.3	17,509	1.2	95.8	△ 6.9	38,791
96期末(2017年3月10日)	5,584	30	0.5	14,454	0.3	17,638	0.7	96.0	△ 7.0	38,303
97期末(2017年4月10日)	5,476	30	△ 1.4	14,183	△ 1.9	17,627	△ 0.1	87.7	—	37,052
98期末(2017年5月10日)	5,562	30	2.1	14,756	4.0	18,201	3.3	95.9	—	36,981
99期末(2017年6月12日)	5,598	30	1.2	14,673	△ 0.6	18,195	△ 0.0	96.2	—	36,381
100期末(2017年7月10日)	5,713	30	2.6	15,061	2.6	18,511	1.7	95.8	—	36,683
101期末(2017年8月10日)	5,623	30	△ 1.1	14,958	△ 0.7	18,426	△ 0.5	95.5	—	35,564

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

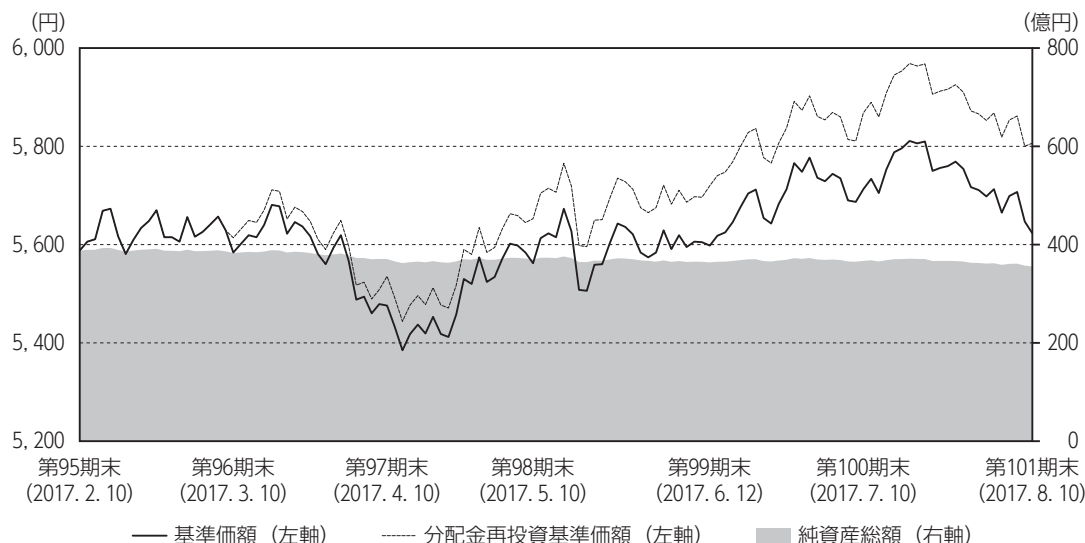
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第 96 期首：5,588円

第101期末：5,623円（既払分配金180円）

騰 落 率：3.9%（分配金再投資ベース）

組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	0.8%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	8.4%

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、債券の利息収入、また新興国の債券価格の上昇および投資している新興国通貨が対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GB I-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第 96 期	(期首) 2017年 2 月10日	5,588	—	14,411	—	17,509	—	95.8	△ 6.9
	2 月末	5,615	0.5	14,338	△ 0.5	17,554	0.3	96.2	△ 6.8
	(期末) 2017年 3 月10日	5,614	0.5	14,454	0.3	17,638	0.7	96.0	△ 7.0
第 97 期	(期首) 2017年 3 月10日	5,584	—	14,454	—	17,638	—	96.0	△ 7.0
	3 月末	5,619	0.6	14,291	△ 1.1	17,989	2.0	96.0	—
	(期末) 2017年 4 月10日	5,506	△ 1.4	14,183	△ 1.9	17,627	△ 0.1	87.7	—
第 98 期	(期首) 2017年 4 月10日	5,476	—	14,183	—	17,627	—	87.7	—
	4 月末	5,534	1.1	14,443	1.8	17,847	1.3	95.5	—
	(期末) 2017年 5 月10日	5,592	2.1	14,756	4.0	18,201	3.3	95.9	—
第 99 期	(期首) 2017年 5 月10日	5,562	—	14,756	—	18,201	—	95.9	—
	5 月末	5,574	0.2	14,680	△ 0.5	18,105	△ 0.5	95.6	—
	(期末) 2017年 6 月12日	5,628	1.2	14,673	△ 0.6	18,195	△ 0.0	96.2	—
第100期	(期首) 2017年 6 月12日	5,598	—	14,673	—	18,195	—	96.2	—
	6 月末	5,736	2.5	15,024	2.4	18,468	1.5	96.9	—
	(期末) 2017年 7 月10日	5,743	2.6	15,061	2.6	18,511	1.7	95.8	—
第101期	(期首) 2017年 7 月10日	5,713	—	15,061	—	18,511	—	95.8	—
	7 月末	5,717	0.1	15,022	△ 0.3	18,529	0.1	96.1	—
	(期末) 2017年 8 月10日	5,653	△ 1.1	14,958	△ 0.7	18,426	△ 0.5	95.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 2. 11 ～ 2017. 8. 10)

■海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、カナダでは金利が上昇し、米国では短期金利が上昇した一方で長期金利は低下しました。第96期首より、米国トランプ大統領の政権運営能力への懸念が高まったことから、金利はおおむね低下傾向となりました。しかし2017年6月以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させたことから、カナダをはじめとした債券市場の金利は上昇に転じました。

・新興国

新興国債券市況は、トランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり保護主義への懸念が後退したことや、先進国の金融政策をめぐる思惑、個別国要因が相場を動かす材料となりました。トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治を巡る懸念から長期の金利は上昇しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念後退から金利は低下しました。

■為替相場

・先進国

先進国為替相場は、米ドルは対円で下落した一方、カナダ・ドルや豪ドルは対円でほぼ横ばいの水準となりました。第96期首より、米国の貿易赤字解消をめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への警戒感が強まったことなどを受けて、米ドルは下落傾向となった一方で円は上昇傾向となりました。2017年6月以降は、対日金利差の拡大を受けて、カナダ・ドルや豪ドルは対円で上昇傾向に転じました。

・新興国

新興国為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが、新興国通貨への需要につながりました。トルコ・リラが対円で上昇したほか、メキシコ・ペソについては対米の通商交渉への懸念後退から大きく上昇しました。また南アフリカ・ランドについては、政治を巡る懸念などから対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40％程度から60％程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90％程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2017. 2. 11 ～ 2017. 8. 10)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

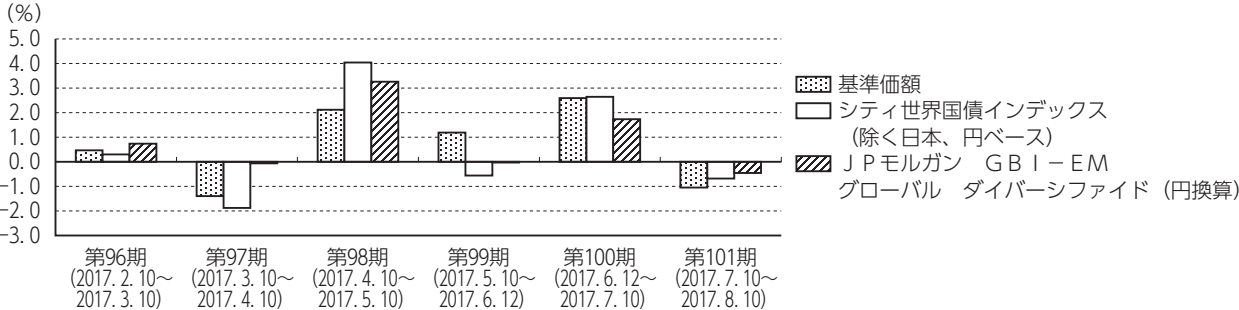
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第96期～第101期の 1 万口当り分配金（税込み）は、それぞれ30円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2017年 2 月11日 ～2017年 3 月10日	2017年 3 月11日 ～2017年 4 月10日	2017年 4 月11日 ～2017年 5 月10日	2017年 5 月11日 ～2017年 6 月12日	2017年 6 月13日 ～2017年 7 月10日	2017年 7 月11日 ～2017年 8 月10日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（％）	0.53	0.54	0.54	0.53	0.52	0.53
当期の収益（円）	19	19	24	26	24	21
当期の収益以外（円）	10	10	5	3	5	8
翌期繰越分配対象額（円）	305	294	289	286	281	273

（注 1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注 2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注 3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	19.51円	19.37円	24.80円	26.78円	24.81円	21.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	52.59	52.81	53.08	53.28	53.52	53.88
(d) 分配準備積立金	263.06	252.37	241.49	236.11	232.67	227.15
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	335.17	324.56	319.38	316.17	311.00	303.02
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	305.17	294.56	289.38	286.17	281.00	273.02

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2017. 2. 11～2017. 8. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0. 696%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 624円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 273)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0. 001	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物)	(0)	(0. 001)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 026	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0. 722	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年 2月11日から2017年 8月10日まで)

決 算 期	第 96 期 ～ 第 101 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券 先進国 マザーファンド	—	—	2,908,758	4,792,915
ダイワ外国債券 新興国 マザーファンド	2,144,250	2,759,100	2,394,228	3,203,783

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第96期～第101期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド	12,311,703	9,402,945	15,927,649
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド	14,382,060	14,132,082	19,461,291

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年 3月10日)、(2017年 4月10日)、(2017年 5月10日)、(2017年 6月12日)、(2017年 7月10日)、(2017年 8月10日)現在

項 目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	38,596,873,295円	37,374,703,335円	37,298,443,296円	36,719,115,458円	36,956,529,643円	35,828,955,719円
コール・ローン等	17,250,744	350,558,757	409,356,177	414,525,498	406,975,955	404,964,347
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド（評価額）	20,207,755,996	16,743,232,515	16,597,896,516	16,288,921,359	16,563,389,956	15,927,649,443
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド（評価額）	18,261,866,555	20,280,912,063	20,209,270,220	19,918,152,095	19,943,334,114	19,461,291,130
未収入金	110,000,000	—	81,920,383	97,516,506	42,829,618	35,050,799
(B) 負債	293,595,353	321,902,815	317,125,164	337,836,685	273,148,397	264,715,098
未払収益分配金	205,783,503	202,975,196	199,467,994	194,968,220	192,622,524	189,759,336
未払解約金	45,776,859	73,080,587	74,591,165	95,354,307	39,994,647	30,240,307
未払信託報酬	41,867,536	45,496,432	42,538,926	46,789,539	39,637,915	43,632,074
その他未払費用	167,455	350,600	527,079	724,619	893,311	1,083,381
(C) 純資産総額（A－B）	38,303,277,942	37,052,800,520	36,981,318,132	36,381,278,773	36,683,381,246	35,564,240,621
元本	61,735,051,120	60,892,558,860	59,840,398,331	58,490,466,080	57,786,757,429	56,927,801,002
次期繰越損益金	△ 23,431,773,178	△ 23,839,758,340	△ 22,859,080,199	△ 22,109,187,307	△ 21,103,376,183	△ 21,363,560,381
(D) 受益権総口数	68,594,501,246口	67,658,398,735口	66,489,331,481口	64,989,406,757口	64,207,508,256口	63,253,112,226口
1万口当り基準価額（C／D）	5,584円	5,476円	5,562円	5,598円	5,713円	5,623円

* 第95期末における元本額は62,479,515,361円、当作成期間（第96期～第101期）中における追加設定元本額は345,015,492円、同解約元本額は5,896,729,851円です。

* 第101期末の計算口数当りの純資産額は5,623円です。

* 第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は21,363,560,381円です。

■投資信託財産の構成

2017年 8月10日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	15,927,649	44.5
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	19,461,291	54.3
コール・ローン等、その他	440,015	1.2
投資信託財産総額	35,828,955	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.19円、1カナダ・ドル＝86.76円、1オーストラリア・ドル＝86.96円、1トルコ・リラ＝31.12円、1メキシコ・ペソ＝6.14円、1南アフリカ・ランド＝8.22円です。

(注 3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第101期末における外貨建純資産（15,992,388千円）の投資信託財産総額（16,020,883千円）に対する比率は、99.8%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第101期末における外貨建純資産（19,301,657千円）の投資信託財産総額（19,509,027千円）に対する比率は、98.9%です。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■損益の状況

第96期 自 2017年 2月11日 至 2017年 3月10日
第97期 自 2017年 3月11日 至 2017年 4月10日

第98期 自 2017年 4月11日 至 2017年 5月10日
第99期 自 2017年 5月11日 至 2017年 6月12日

第100期 自 2017年 6月13日 至 2017年 7月10日
第101期 自 2017年 7月11日 至 2017年 8月10日

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	△ 1,991円	△ 2,291円	△ 8,600円	△ 11,177円	△ 10,371円	△ 10,712円
受取利息	13	14	39	132	65	74
支払利息	△ 2,004	△ 2,305	△ 8,639	△ 11,309	△ 10,436	△ 10,786
(B) 有価証券売買損益	222,064,411	△ 479,138,666	810,981,235	476,162,597	972,142,977	△ 340,590,205
売買益	390,100,785	11,246,643	817,141,428	562,801,377	980,323,076	4,847,068
売買損	△ 168,036,374	△ 490,385,309	△ 6,160,193	△ 86,638,780	△ 8,180,099	△ 345,437,273
(C) 信託報酬等	△ 42,034,991	△ 45,679,577	△ 42,715,405	△ 46,987,481	△ 39,806,691	△ 43,822,144
(D) 当期損益金 (A + B + C)	180,027,429	△ 524,820,534	768,257,230	429,163,939	932,325,915	△ 384,423,061
(E) 前期繰越損益金	△ 20,062,487,539	△ 19,797,614,562	△ 20,149,627,132	△ 19,124,316,917	△ 18,645,135,270	△ 17,613,352,378
(F) 追加信託差損益金	△ 3,343,529,565	△ 3,314,348,048	△ 3,278,242,303	△ 3,219,066,109	△ 3,197,944,304	△ 3,176,025,606
(配当等相当額)	(360,750,978)	(357,351,622)	(352,969,239)	(346,286,269)	(343,643,219)	(340,827,538)
(売買損益相当額)	(△ 3,704,280,543)	(△ 3,671,699,670)	(△ 3,631,211,542)	(△ 3,565,352,378)	(△ 3,541,587,523)	(△ 3,516,853,144)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 23,225,989,675	△ 23,636,783,144	△ 22,659,612,205	△ 21,914,219,087	△ 20,910,753,659	△ 21,173,801,045
(H) 収益分配金	△ 205,783,503	△ 202,975,196	△ 199,467,994	△ 194,968,220	△ 192,622,524	△ 189,759,336
次期繰越損益金 (G + H)	△ 23,431,773,178	△ 23,839,758,340	△ 22,859,080,199	△ 22,109,187,307	△ 21,103,376,183	△ 21,363,560,381
追加信託差損益金	△ 3,343,529,565	△ 3,314,348,048	△ 3,278,242,303	△ 3,219,066,109	△ 3,197,944,304	△ 3,176,025,606
(配当等相当額)	(360,750,978)	(357,351,622)	(352,969,239)	(346,286,269)	(343,643,219)	(340,827,538)
(売買損益相当額)	(△ 3,704,280,543)	(△ 3,671,699,670)	(△ 3,631,211,542)	(△ 3,565,352,378)	(△ 3,541,587,523)	(△ 3,516,853,144)
分配準備積立金	1,732,582,348	1,635,599,899	1,571,100,065	1,513,565,032	1,460,638,198	1,386,130,584
繰越損益金	△ 21,820,825,961	△ 22,161,010,191	△ 21,151,937,961	△ 20,403,686,230	△ 19,366,070,077	△ 19,573,665,359

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	133,893,355円	131,059,088円	164,913,036円	174,062,883円	159,325,111円	139,078,150円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	360,750,978	357,351,622	352,969,239	346,286,269	343,643,219	340,827,538
(d) 分配準備積立金	1,804,472,496	1,707,516,007	1,605,655,023	1,534,470,369	1,493,935,611	1,436,811,770
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,299,116,829	2,195,926,717	2,123,537,298	2,054,819,521	1,996,903,941	1,916,717,458
(f) 分配金	205,783,503	202,975,196	199,467,994	194,968,220	192,622,524	189,759,336
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,093,333,326	1,992,951,521	1,924,069,304	1,859,851,301	1,804,281,417	1,726,958,122
(h) 受益権総口数	68,594,501,246口	67,658,398,735口	66,489,331,481口	64,989,406,757口	64,207,508,256口	63,253,112,226口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(単 価)	(5, 584円)	(5, 476円)	(5, 562円)	(5, 598円)	(5, 713円)	(5, 623円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2017年 8 月10日）

（計算期間 2017年 2 月11日～2017年 8 月10日）

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

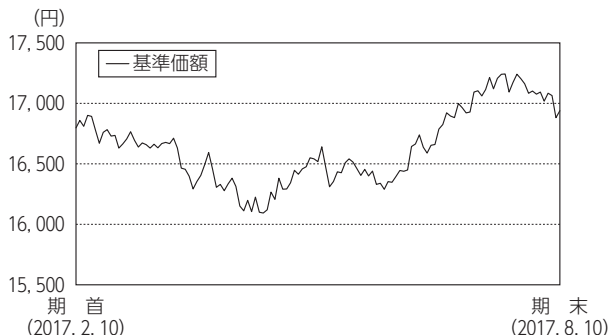
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%
(期首) 2017年 2月10日	16,797	—	14,411	—	95.6	△ 13.0
2月末	16,664	△ 0.8	14,338	△ 0.5	96.6	△ 13.1
3月末	16,594	△ 1.2	14,291	△ 0.8	96.6	—
4月末	16,292	△ 3.0	14,443	0.2	96.7	—
5月末	16,454	△ 2.0	14,680	1.9	97.2	—
6月末	16,895	0.6	15,024	4.3	97.3	—
7月末	17,083	1.7	15,022	4.2	97.0	—
(期末) 2017年 8月10日	16,939	0.8	14,958	3.8	96.4	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,797円 期末：16,939円 騰落率：0.8%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の価格下落や投資している通貨が円に対して下落したことが下落要因となりましたが、投資している債券の利息収入が上昇要因となり基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、カナダでは金利が上昇し、米国では米国短期金利が上昇した一方で長期金利は低下しました。期首より、米国トランプ大統領の政権運営能力への懸念が高まったことから、金利はおおむね低下傾向となりました。しかし2017年6月以降は、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させたことから、カナダをはじめとした債券市場の金利は上昇に転じました。

○為替相場

為替相場は、米ドルは対円で下落した一方、カナダ・ドルや豪ドルは対円でほぼ横ばいの水準となりました。期首より、米国の貿易赤字解消をめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への警戒感が強まったことなどをを受けて、米ドルは下落傾向となった一方で円は上昇傾向となりました。2017年6月以降は、対日金利差の拡大を受けて、カナダ・ドルや豪ドルは対円で上昇傾向に転じました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	0円 (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	3

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項
目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概
要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年 2月11日から2017年 8月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 7,409 (—)
		特殊債券	—	(— 500)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 7,558 (—)
		地方債証券	—	2,731 (—)
		特殊債券	—	2,512 (—)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 9,078 (—)
		特殊債券	—	17,314 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2017年 2月11日から2017年 8月10日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 2,647	百万円 5,291

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 2月11日から2017年 8月10日まで)

当 期		期 付	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.25% 2026/4/21	755,705
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.5% 2019/8/7	642,262
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	558,862
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.25% 2021/6/1	313,987
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 2.75% 2020/4/16	309,871
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP. (オーストラリア) 7% 2021/7/15	296,182
		CPPIB Capital Inc (カナダ) 1.4% 2020/6/4	174,042
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.25% 2025/6/1	172,990
		KOMMUNALBANKEN (ノルウェー) 3.5% 2018/5/30	169,215
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2046/2/15	150,261

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
アメリカ	千アメリカ・ドル 33,300	千アメリカ・ドル 34,194	千円 3,767,855	% 23.6	% —	% 14.9	% 5.9	% 2.8
カナダ	千カナダ・ドル 40,500	千カナダ・ドル 42,175	3,659,118	22.9	—	13.6	9.3	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 84,860	千オーストラリア・ドル 91,528	7,959,314	49.9	—	28.4	19.7	1.8
合計	—	—	15,386,288	96.4	—	56.9	35.0	4.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	千アメリカ・ドル 4,000	千アメリカ・ドル 4,183	千円 461,004	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	4,000	4,011	442,033	2019/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	8,500	8,617	949,559	2021/02/28
	US Treasury Inflation Indexed Bonds	国債証券	0.2500	3,800	3,905	430,360	2025/01/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	2,000	1,872	206,363	2046/02/15
	BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	10,318	1,137,017	2024/09/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,284	141,517	2023/01/19
通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		33,300	34,194	3,767,855	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千カナダ・ドル 1,500	千カナダ・ドル 1,601	138,967	2021/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	1,500	1,585	137,529	2022/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	4,000	4,138	359,012	2025/06/01
	Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	4,000	4,388	380,702	2021/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	7,500	8,060	699,287	2024/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	1,500	1,619	140,545	2021/06/02
	BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	3,000	3,104	269,319	2025/06/18
	CPPIB Capital Inc	特殊債券	1.4000	8,000	7,946	689,471	2020/06/04
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	9,500	9,731	844,281	2022/12/15
通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		40,500	42,175	3,659,118	

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	4,000	4,528	393,810
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,760	935,750
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	2.7000	3,000	2,999	260,830
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.5000	5,000	5,618	488,554
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	2.7500	6,500	6,584	572,599
		Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,841	247,138
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	2,000	2,347	204,159
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	14,000	16,663	1,449,057
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	14,000	14,262	1,240,242
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.8000	5,500	5,576	484,932
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,502	478,527
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.5000	3,000	3,254	283,033
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	2.8000	5,000	5,059	440,008
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,527	480,667
通貨小計	銘柄数	14銘柄					
	金 額				84,860	91,528	7,959,314
合 計	銘柄数	30銘柄					
	金 額						15,386,288

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目		2017年 8月10日現在	
		当 期 末	比 率
		評 価 額	%
		千円	
公社債		15,386,288	96.0
コール・ローン等、その他		634,594	4.0
投資信託財産総額		16,020,883	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.19円、1カナダ・ドル＝86.76円、1オーストラリア・ドル＝86.96円です。
 (注 3) 当期末における外貨建純資産 (15,992,388千円) の投資信託財産総額 (16,020,883千円) に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目		2017年 8月10日現在	
		当 期 末	
(A)資産		19,038,712,037円	
コール・ローン等		179,969,514	
公社債 (評価額)		15,386,288,809	
未収入金		3,216,855,858	
未収利息		100,652,994	
差入委託証拠金		154,944,862	
(B)負債		3,076,217,799	
未払金		3,041,167,000	
未払解約金		35,050,799	
(C)純資産総額 (A－B)		15,962,494,238	
元本		9,423,618,033	
次期繰越損益金		6,538,876,205	
(D)受益権総口数		9,423,618,033口	
1万口当り基準価額 (C／D)		16,939円	

* 期首における元本額は12,332,888,478円、当期中における追加設定元本額は3,089,027円、同解約元本額は2,912,359,472円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型)－ダイワスピリット－9,402,945,536円、ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型)－ダイワスピリット (年1回)－20,672,497円です。
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は16,939円です。

■損益の状況

当期 自2017年 2月11日 至2017年 8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	278,707,476円
受取利息	278,613,992
その他収益金	110,038
支払利息	△ 16,554
(B) 有価証券売買損益	△ 240,204,586
売買益	342,368,750
売買損	△ 582,573,336
(C) 先物取引等損益	4,784,891
取引益	4,784,891
(D) その他費用	△ 2,787,939
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	40,499,842
(F) 前期繰越損益金	8,382,749,512
(G) 解約差損益金	△ 1,886,437,490
(H) 追加信託差損益金	2,064,341
(I) 合計 (E + F + G + H)	6,538,876,205
次期繰越損益金 (I)	6,538,876,205

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第17期 (決算日 2017年 8 月10日)

(計算期間 2017年 2 月11日～2017年 8 月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

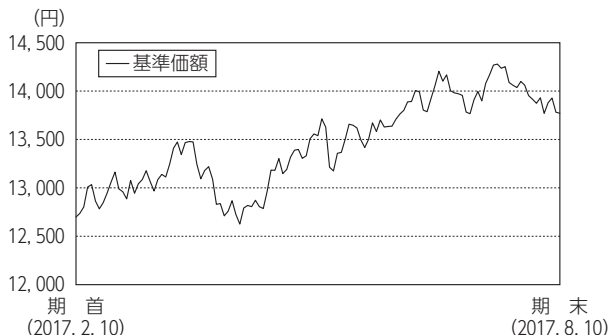
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-E M グロ ーバル ダイバ ーシファ イド (円換算)		公 社 債 債 券 組入比率	
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
	円	%	%	%	%	%
(期首) 2017年 2月10日	12,699	—	17,509	—	95.3	—
2月末	12,960	2.1	17,554	0.3	96.0	—
3月末	13,219	4.1	17,989	2.7	95.7	—
4月末	13,190	3.9	17,847	1.9	95.3	—
5月末	13,417	5.7	18,105	3.4	95.0	—
6月末	14,003	10.3	18,468	5.5	97.5	—
7月末	13,953	9.9	18,529	5.8	96.1	—
(期末) 2017年 8月10日	13,771	8.4	18,426	5.2	95.7	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mグローバル ダイバ ーシファ イド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント ・ボ ンド ・インデックス ・エマ ージ ング ・マ ーケ ッツ グロ ーバ ル ダイバ ーシファ イド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント ・ボ ンド ・インデックス ・エマ ージ ング ・マ ーケ ッツ グロ ーバ ル ダイバ ーシファ イド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,699円 期末：13,771円 騰落率：8.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や価格の上昇、投資している通貨が対円で上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場では、米国トランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり保護主義への懸念が後退したことや、先進国の金融政策を巡る思惑、個別国要因が相場を動かす材料となりました。トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念後退から金利は低下しました。

○為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが、新興国通貨への需要につながりました。トルコ・リラが対円で上昇したほか、メキシコ・ペソについては対米の通商交渉への懸念後退から大きく上昇しました。また南アフリカ・ランドについては、政治を巡る懸念などから対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (4)
(その他)	(0)
合 計	4

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年 2 月11日から2017年 8 月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 106, 823	千トルコ・リラ 52, 384 (16, 500)
			4, 983	— (—)
	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 470, 509	千メキシコ・ペソ 459, 514 (—)
			千南アフリカ・ランド 103, 495	千南アフリカ・ランド 148, 974 (—)
国	南アフリカ	国債証券	—	21, 083 (46, 965)
		特殊債券		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 2 月11日から2017年 8 月10日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Turkey Government Bond (トルコ) 11% 2027/2/24	1, 528, 906	Mexican Bonos (メキシコ) 7. 75% 2017/12/14	1, 864, 650
Mexican Bonos (メキシコ) 7. 75% 2017/12/14	1, 176, 985	Turkey Government Bond (トルコ) 8. 3% 2018/6/20	774, 915
Mexican Bonos (メキシコ) 7. 75% 2042/11/13	759, 921	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10. 5% 2026/12/21	471, 217
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10. 5% 2026/12/21	729, 535	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2030/1/31	446, 906
Turkey Government Bond (トルコ) 8. 8% 2018/11/14	606, 843	Turkey Government Bond (トルコ) 10. 7% 2021/2/17	383, 114
Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2036/11/20	591, 167	Turkey Government Bond (トルコ) 6. 3% 2018/2/14	306, 545
Turkey Government Bond (トルコ) 10. 7% 2021/2/17	371, 087	Mexican Bonos (メキシコ) 4. 75% 2018/6/14	304, 255
Turkey Government Bond (トルコ) 10. 4% 2024/3/20	310, 937	Mexican Bonos (メキシコ) 7. 75% 2042/11/13	298, 926
Turkey Government Bond (トルコ) 6. 3% 2018/2/14	300, 901	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2017/12/29	179, 086
Mexican Bonos (メキシコ) 6. 5% 2022/6/9	286, 017	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8. 75% 2048/2/28	153, 253

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 222,090	千トルコ・リラ 216,408	千円 6,734,647	% 34.5	% —	% 27.0	% —	% 7.5
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,160,000	千メキシコ・ペソ 1,190,565	7,310,072	37.5	—	19.5	10.8	7.2
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 615,000	千南アフリカ・ランド 561,098	4,612,231	23.6	—	23.0	—	0.6
合計	—	—	18,656,952	95.7	—	69.5	10.8	15.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	% 7.1000	千トルコ・リラ 5,000	千トルコ・リラ 4,290	千円 133,504	2023/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	18,500	575,720	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	19,405	603,883	2018/11/14
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	40,000	39,960	1,243,555	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	28,812	896,634	2025/03/12
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	30,000	30,300	942,936	2026/02/11
	Turkey Government Bond	国債証券	11.0000	46,000	47,564	1,480,191	2027/02/24
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.7500	20,000	19,414	604,169	2018/04/03
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.6200	5,100	5,088	158,356	2017/08/22
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	10.4700	3,090	3,075	95,695	2017/10/27
通貨小計	銘柄数	10銘柄					
	金 額			222,090	216,408	6,734,647	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 65,000	千メキシコ・ペソ 76,960	472,534	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	75,000	97,317	597,526	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	80,000	81,647	501,313	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	100,000	99,164	608,866	2021/06/10
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	20,000	21,268	130,589	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	50,000	49,449	303,616	2022/06/09
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	270,000	286,804	1,760,981	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	150,000	147,348	904,716	2018/06/14
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	200,000	195,022	1,197,435	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	150,000	135,585	832,491	2024/09/12
通貨小計	銘柄数	10銘柄					
	金 額			1,160,000	1,190,565	7,310,072	

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10. 5000	千南アフリカ・ランド 120, 000	千南アフリカ・ランド 134, 767	千円 1, 107, 786
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6. 2500	50, 000	35, 807	294, 337
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6. 5000	40, 000	28, 100	230, 982
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7. 0000	50, 000	41, 596	341, 923
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8. 7500	180, 000	161, 721	1, 329, 346
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8. 5000	160, 000	143, 817	1, 182, 180
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9. 0000	15, 000	15, 288	125, 674
通貨小計	銘柄数	7銘柄					
	金 額				615, 000	561, 098	4, 612, 231
合 計	銘柄数	27銘柄					
	金 額						18, 656, 952

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目		2017年 8月10日現在	
		当 期	末
		評 価 額	比 率
		千円	%
公社債		18, 656, 952	95. 6
コール・ローン等、その他		852, 075	4. 4
投資信託財産総額		19, 509, 027	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110. 19円、1トルコ・リラ＝31. 12円、1メキシコ・ペソ＝6. 14円、1南アフリカ・ランド＝8. 22円です。
 (注 3) 当期末における外貨建純資産 (19, 301, 657千円) の投資信託財産総額 (19, 509, 027千円) に対する比率は、98. 9% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目		2017年 8月10日現在	
		当 期	末
(A)資産			19, 648, 967, 635円
コール・ローン等			389, 856, 998
公社債 (評価額)			18, 656, 952, 035
未収入金			139, 940, 000
未収利息			392, 296, 459
前払費用			69, 922, 143
(B)負債			145, 059, 746
未払金			145, 059, 746
(C)純資産総額 (A－B)			19, 503, 907, 889
元本			14, 163, 147, 441
次期繰越損益金			5, 340, 760, 448
(D)受益権総口数			14, 163, 147, 441口
1万口当り基準価額 (C／D)			13, 771円

* 期首における元本額は14, 407, 816, 878円、当期中における追加設定元本額は2, 150, 526, 145円、同解約元本額は2, 395, 195, 582円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型) －ダイワスピリットー14, 132, 082, 732円、ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型) －ダイワスピリット (年1回) －31, 064, 709円です。
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は13, 771円です。

■損益の状況

当期 自2017年2月11日 至2017年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	787,730,315円
受取利息	787,833,753
支払利息	△ 103,438
(B) 有価証券売買損益	862,821,084
売買益	1,153,094,972
売買損	△ 290,273,888
(C) その他費用	△ 5,837,754
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,644,713,645
(E) 前期繰越損益金	3,889,193,932
(F) 解約差損益金	△ 809,892,405
(G) 追加信託差損益金	616,745,276
(H) 合計 (D + E + F + G)	5,340,760,448
次期繰越損益金 (H)	5,340,760,448

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。